

第3学年 国語科学習指導案

指導者 教諭

児童数 10名

場 所 3年教室

1 単元名 ポスターを読もう

2 単元の目標【評価規準の観点】

- (1) ポスターを読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもとうとし、学習課題にそって友達と伝え合おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】
- (2) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えを持つことができる。 【思考力・判断力・表現力】
- (3) 比較や分類の仕方を理解し使うことができる。 【知識・技能】

3 タブレットの利活用について

2つのポスターを比較して、見つけた違いを直接タブレットに書きこませる。そして、オクリンクを用いてそれぞれ見つけた気づきを共有する。それらを用いることで、知らせたい対象について根拠を考えることができる。

4 本時の学習

(1) 目標

ポスターを比較して読み、知らせたい対象とその根拠について自分の考えを持つことができる。

【思考力・判断力・表現力】

(2) 展開 (…評価 ●…達成不十分な児童への指導)

過程	学 習 活 動	形態	指導上の留意点
導 入	1 本時のめあてを確認する。	CW	○ 二つのポスターは、同じ目的にも関わらず、表し方が違うことに気づかせる。
	めあて 二つのポスターをくらべて読み、どんなちがいがあるか考えよう。(表す力)		
展 開	2 二つのポスターの違い箇所を見つけ、違いを共有する。	PW CW	○ オクリンクを用いて、片方にしかない箇所と表現の仕方が違う箇所に印をつけて交流させる。
	3 二つのポスターの知らせたい相手とそう考えたわけを考える。	PW	○ 二つのポスターの「知らせたい相手」と「そう考えた根拠」を考えさせる。
	4 学級で相手とその根拠を交流し、ポスターの意図を確認する。	CW	○ 知らせたい相手とその根拠を交流させ、ポスターは知らせたい相手を意識して制作されていることに気づかせる。
	【評価の観点】 B 根拠を基にしてポスターの対象を考えることができる。(発言・ワークシート) ● 比べる視点(写真やキャラクターなど)を示し、その違いから考えさせる。		
ま と め	5 本時の学習内容を確認し、まとめをする。	CW	○ ポスターは、知らせたい相手によって表し方が変わることを確認させる。
	6 振り返りを書く。	PW	○ 振り返りをさせる。